

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成29年度)

【様式1】

施設名	メディキット県民文化センター(県立芸術劇場)
指定管理者	公益財団法人宮崎県立芸術劇場
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部 みやざき文化振興課

1 施設利用状況

指標	H29	H28	H27	増減理由等
施設利用者数	254,725	250,971	225,517	貸館利用者数の増加による。
利用率(ホール)	75.9%	79.1%	79.7%	
利用率(練習室)	91.4%	91.5%	92.1%	
コメント	貸館利用者の増加等により施設利用者は増加している。また、練習室の利用率については、指定管理受託以降9割を超え高い稼働率を維持しており、ホールの利用率についても、ほぼ例年並みの水準を保っている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H29	H28	H27	支出	H29	H28	H27
指定管理料	470,218	464,089	420,511	人件費	123,231	116,180	109,951
委託料	137,384	119,880	49,434	事業支出	579,756	588,630	631,585
利用料金収入	57,553	54,912	58,280	県納付金(寄附金)	1,861	566	1,743
基金取崩収入	0	15,000	57,941	修繕費	144,345	125,301	29,379
その他事業収入	193,415	177,925	177,031	その他経常支出	1,079	197	241
合計(①)	858,570	831,806	763,197	合計(②)	850,272	830,874	772,899
収支差額(①-②)	8,298	932	-9,702				
コメント	・委託料は、大規模改修に伴う委託料である。 ・県納付金は、利用料収入が基準額を上回ったことによる。(超過額の1/2を納付。利用料金収入は、県納付額を含む。) ・収支差額の黒字の主な要因は、自主事業の収支改善や光熱水費の減によるもの。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成29年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、定期清掃(2回)、特別清掃(ガラス、カーペット)
	保守・点検	舞台機構・照明・音響設備・空調機械、消防用設備
	警備	常駐警備
	修繕	県の改修実施計画を踏まえた修繕計画に基づき修繕を実施(29年度は音響設備ほか改修)
	備品等管理	ピアノ等定期点検実施、車両管理体制を整備
	安全対策	危機管理マニュアル整備(地震・火災)、安全管理日常点検、避難訓練コンサートの開催
その他	光熱水費削減	
企画運営業務	サービス提供体制整備	・貸館利用者をサポートするコーディネーターの強化、充実 ・インターネットを利用したチケット予約システムの設置 ・ホームページのお問い合わせフォームや意見箱からのお客様の声への迅速な対応 ・接遇研修等によるサービス向上 ・近隣店舗とタイアップしたグルメマップの制作
	イベント等ソフト面充実	・自主文化事業の充実(公演内容の充実、県民等への芸術文化活動支援、県内公共ホールとの連携強化) ・宮崎県公立文化施設ポータルサイトの開設 ・テレビ、ラジオ等におけるパブリシティの充実 ・友の会会員への広報活動強化 ・ホームページの充実 ・フェイスブックの活用
	施設設備等ハード面充実	・空調設備取替
	その他	美術館・図書館・博物館と連携しての4館見学ツアーを実施
管理運営体制	29名(県派遣職員1名、正職員26名、民間派遣職員2名(平成29年4月1日現在))	
コメント	県民の芸術文化活動の拠点として、宮崎国際音楽祭をはじめ良質な文化芸術を提供するとともに県民に愛される劇場づくりに努めることができている。また、施設の経年劣化が進んでおり、計画的かつ効率的な改修に努めたい。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
アンケートでは、公演内容としては自主企画の舞台公演に高い評価を得た他、歌舞伎や海外オーケストラ公演では宮崎市外からの来場者が3割を超えた。また、スタッフの対応には総じて高い評価を得ている。	広く県民に親しまれる文化芸術の中核拠点として、企画内容を充実させ、新たな観客の獲得を目指していく。また、広報の充実やスタッフ教育についても引き続き注力し、利用者満足度の向上に努める。
駐車場不足のため、来館者からの苦情がたえない。	美術館、図書館とも連携しながら、臨時駐車場の確保や誘導に努めた。

5 総合評価

評価コメント	第三期指定管理期間では「顔の見える、親切な劇場」に取り組んでいる。施設利用者数は前年を上回り、利用率もホール及び練習室ともにほぼ例年並みの水準を保つなど、取組の成果が表れており、指定管理者制度導入の目的である利用者サービスの向上については、一定の成果が得られていると考えている。また、車両管理問題が発生したが、管理体制の強化や職員研修を充実により改善が図られている。
今後の課題と対応	広報の強化や企画の充実により、自主事業の県民への周知を図る。また、利用者サービスの更なる向上と、新たな利用者の獲得に努めることで、県民の芸術文化活動の拠点としての役割を果たし、劇場運営の安定化に努める。駐車場不足については、引き続き文化公園全体の問題として取り組んでいく。